

四季工房のいまを伝えるコミュニケーション情報誌

おりじん

vol.8 2009-10年 冬号

[O・R・I・J・I・N]

◎発行◎ (株)四季工房「おりじん」編集室 〒963-0111 郡山市安積町荒井字猫田56 TEL/024-937-6351(代) FAX/024-937-6341 http://www.sikikobo.co.jp

Contents

- 「海から山へ」……………表紙
- 地域主義工務店の役割……………2・3
- 居住時CO₂削減に向けて……………4
- 無垢材家具のお手入れ……………4
- 天風会に参加してみませんか?……………5
- 木の祭り&感謝祭レポート……………6
- OBの広場……………7
- インドネシア旅行記……………8
- 年末のご挨拶……………8



リンジャニ山/インドネシア・ロンボク島



ポロブドゥール/ジョグジャカルタ

〈以下P8へ続く〉

魅惑のインドネシア 「海から山へ」

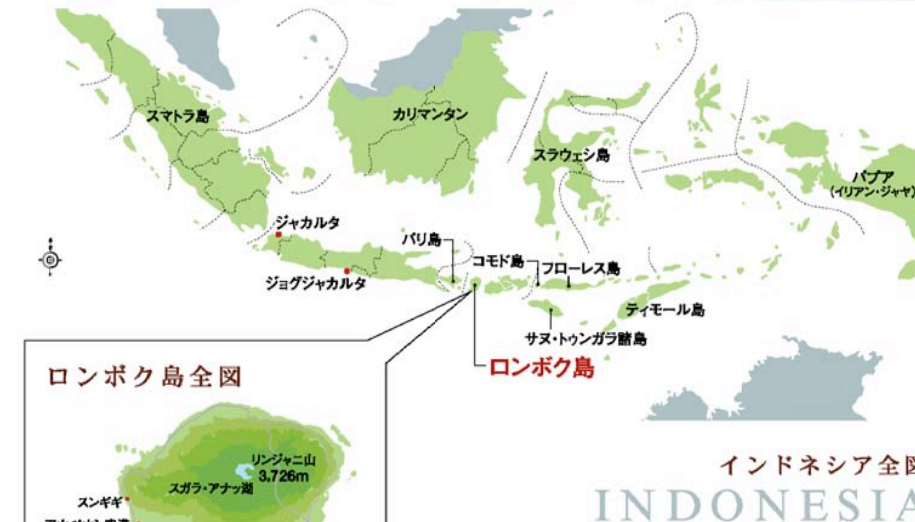
今年の撮影旅行はヨーロッパじゃないの?なぜインドネシアなの?と聞かれる。毎年ヨーロッパや北欧では、同じ傾向の写真になってしまうのもイヤだったし、世界を見渡せば行ったことのない国の方が多く、せっかくだけに休暇をより生かして使いたいという思いもあった。

今回インドネシア行きを決めたのは、以前一人旅でスマトラ島のメダンからバスで2時間ほど行ったところにあるプラスタニという町に行き、思いつきでそこからガイドをつけて2,300mほどの山(活火山)に登った時の活火山の力強い魅力が頭から離れなかったこともあった。

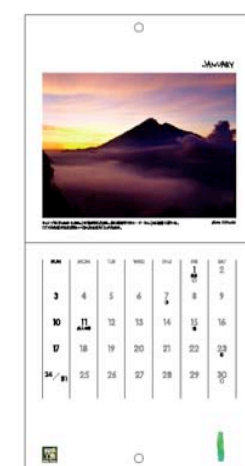
表紙の写真でもある、インドネシア三番目の名峰・リンジャニ山がロンボク島にあるのを知ったのは、旅行本を眺めていて偶然だった。眺めていたらどうしても登ってみたいくなった。

現地で結局色々調べていたら、小噴火があつて、3,726mの頂上まで行くのは難しいらしいということが分かった(後で聞いたが、そんなことはないという顔をしていた)。それに強行軍で山中に二泊、ゆつくりで三泊しなければならぬのも、日程に無理がかかってしまう。結局一泊二日で2,700mの火口縁まで行くことにした。

この登山は、はつきり言つて思つた以上にキツかった。しかし山は素晴らしい、次回は「必ず頂上まで行つてやるぞ!」という気にもなった。また、この先どの国を訪ねるのにも、山に登るということを一つの目的にしたいと思つた。外国の山にはそれぞれ魅力があつて面白いし、達成感が充実感につながり、いつまでも鮮明に記憶として残るのかけがえがない。



それにしても今年の旅は、新調したオリンパスカメラとレンズが不調で、特にレンズがリコール製品だったことが、行つてから分かった。それでほとんどマニュアルで撮影する羽目になった。視力が悪いということもあつて、案の定ピントが甘いものが多かったのは残念であつた。そんな言い訳を一言つけ加えさせていたいて、腕の悪いのを、カメラのせいと弁解してるのですが(笑)。どうぞ私の勉強の爲にも辛口のご批評をお待ちしております。



ご希望の方は担当営業までお申し付けください。

2010カレンダープレゼント!!

来年も皆様にとって良い年でありますよう心よりお祈り申し上げます。

野崎 進



◆年末のご挨拶◆

時代のニーズに合った 新ラインナップの発表

どんなに時代が変わろうと、長期優良住宅の本質をはじめとした、普遍的

「変化こそ常道」という言葉がありま
す。世の中は常に移り変わっていくと
いう意味ですが、私が住宅の仕事に携
わって28年経った今(あつという間に
こんなに経ってしまったという実感で
すが)振り返ってみると、本当にそれが
良く分ります。

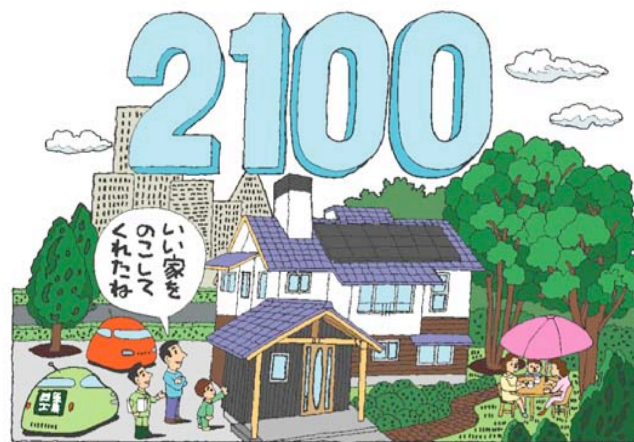
高度経済成長期ービニルクロスやき
れいに化粧した化学建材がもてはやさ
れる時代が続きましたが、化学建材の
害が指摘されると自然素材が注目され
また輸入材全盛の時代から環境問題が
取り沙汰されてくると、国産材が見直
されるようになりまし。私達四季工
房がいち早く取り組んできた国産材と
自然素材は、最近でこそほとんどの住
宅会社が宣伝文句にして(程度の差は
あれ)当たり前のようになっています。

一方、私達がずっと守り育ててきた
パッシブソーラーハウスは、一時代、ソ
ーラー住宅として脚光を浴びましたが
「品質確保促進法」が施行されると、高
気密・高断熱住宅一辺倒の流れとなり
近年は肩身の狭い状況が続いているの
が実状です。

そして、福田前首相の「2000年住宅」
提唱により今年「長期優良住宅法」が施

材の魅力も見えませんか、できるだ
け柱や梁が室内に表れること。そして
これらが時の経過とともに何とも言え
ない味わい深い色ツヤに変化していく
こと。また随所に職人さんの丁寧な手
仕事が残っていること。床板なども丁
寧にはずして表面を削って再利用した
いと思ってもらえること。それには当
然ボンドで貼ったものは不可となりま
すし、床の厚みも必要になってきます。
何よりも土台や柱などが床下や壁内で
湿気のために腐ってしまったのでは元
も子もありません。そして最後には、間
取りに可変性があつてその時代時代の
家族の変化に合わせられるかどうか、
ということが大事な要素となるでしょ
う。

こんなことを考えていくと、これら
は私達がずっとやってきたことではな
いか。「国産材を大工さん、建具屋さ
んの手仕事で、しっかりと造り上げて
いくこと」そして「湿気に強い壁内通気
工法でつくり上げること」「広がりの中
取りになっていること」というところ
に行き着いてしまうのです(こう言っ
と、結局自社PRではないかと言われ
るのを承知の上で申し上げます)。今の
制度の「長期優良住宅」が「良い家をつ
くって永く住む」という本来あるべき
姿に育って欲しいと切に願うものです。



子や孫の代になっても愛着を持って住み継げる家を。

新しい住宅ラインナップのカタログを
同封いたしますのでどうぞご覧ください。

な要素は存在します。しかし、だからと
言って「変わらない」で良いのでし
ょうか？

私達は今、立ち止まるのではなく、長
期優良住宅以外にも、行き過ぎた(と思
われる)標準仕様を見直して、もっと良
い住宅を安く提供する努力もすべきだ
と考えました。それが時代のニーズに
応えるということではないでしょうか。
そこで、原点回帰の四季の家「スタン
ダード」や、低炭素社会に貢献できる「ゼ
ロエネルギー住宅」などを新たなライ
ンとして加え、より多くの方に共感し
ていただける住宅づくりに着手いたし
ております。皆様、これからもご愛顧の
程何卒宜しくお願い致します。

環境に対する取り組みを新たに明言化した 「新・環境社会宣言」「新・住まいのエコ」を発表。

人と環境にやさしい家づくりを目指す、私たちの具体的な取り組みを明確にしました。
家づくりを通して、低炭素社会の実現、地球環境保全に貢献してまいります。

「新・住まいのエコ」は四季
工房HPにてご覧いただけます。
www.sikikobo.co.jp

新・環境社会宣言

私達は、日本が世界に公約したCO225%削減を達成すべく、
住宅づくりから低炭素社会の実現に貢献します。

1. 私達は低炭素社会の実現に向けて、LCCO250%以上削減を達成し、地球環境保全に貢献します。(2008年作成の5カ年計画遵守)
2. 「森林認証材」を中心とした国産材100%の家づくりをさらに深化させ、美しい日本の自然を守り育てます。
3. 50年、100年後の子孫の時代に「この家を残したい」と言われる、真に価値のある「長期優良住宅」をつくります。
4. 一棟一棟手づくりの家づくりを実践し、職人と地域の資源を生かして「循環型社会」の構築に貢献します。
5. 世界に誇れる日本の伝統工法の家づくりを守り、後世に継承していくため、大工棟梁を10年で100名育成します。(2010年～2020年)

時代の変化に即応して — 住宅の新ラインナップを発表しました —

変化は世の常

「変化こそ常道」という言葉がありま
す。世の中は常に移り変わっていくと
いう意味ですが、私が住宅の仕事に携
わって28年経った今(あつという間に
こんなに経ってしまったという実感で
すが)振り返ってみると、本当にそれが
良く分ります。

高度経済成長期ービニルクロスやき
れいに化粧した化学建材がもてはやさ
れる時代が続きましたが、化学建材の
害が指摘されると自然素材が注目され
また輸入材全盛の時代から環境問題が
取り沙汰されてくると、国産材が見直
されるようになりまし。私達四季工
房がいち早く取り組んできた国産材と
自然素材は、最近でこそほとんどの住
宅会社が宣伝文句にして(程度の差は
あれ)当たり前のようになっています。

一方、私達がずっと守り育ててきた
パッシブソーラーハウスは、一時代、ソ
ーラー住宅として脚光を浴びましたが
「品質確保促進法」が施行されると、高
気密・高断熱住宅一辺倒の流れとなり
近年は肩身の狭い状況が続いているの
が実状です。

そして、福田前首相の「2000年住宅」
提唱により今年「長期優良住宅法」が施

行されましたが、最近ではこれをキャ
ッチフレーズにしないと、さも時代に
取り残されてしまうような雰囲気にな
らなってきたように思えます。

長期優良住宅の本質

冷静に振り返ってみますと、同じ「変
化」でも、「進化」と呼べるものは少しで、
その時々「流行」のようなものが多く
あるように感じられます。現在、長期優
良住宅も「流行」となっている感があり、

「短期耐震住宅」などと陰口をたたかれ
ているのです。ここで今一度、原点に返
って考えてみたいことは、長期優良住
宅の本質についてです。

この長期優良住宅は、一定時期に手
を加え修繕しながら、住宅を50年、
100年と長持ちさせ、次の世代に受
け継いでいくというものです。しか
し、そのままの状態50年、100年と
受け継いでいくことは到底できません。
おそらく30年ぐらいでキッチンやお風
呂などの水周りを中心にリフォームし



郡山展示場を移築した仙台市「八木山の家」

て、ざっと1500万円前後はかかる
でしょう。50、60年目には水周りのリ
フォームに加え屋根も壁も張替えし
て、場合によっては土台や柱も入れ替えな
ければならないかもしれません。そう
なると修繕費は建替えとほぼ同程度の
2000万円以上かかることもあるで
しょう(今の貨幣価値の場合であつて、
60、70年先には3000万円かもしれ
ません)。その時の家主は子や孫の代に
なっているでしょうから、その人達が
それだけの費用を出してまで「この家
はどうしても残したい」と思ってもら
えるような魅力、愛着がその家にある
かどうかが問題になります。この時点
での選択権は次世代の子孫に移ってい
るのです。おそらく単純に長期優良住
宅の認定基準に合致させただけの住宅
では、その時点で「壊して建替える」と
いう選択になってしまうに違いありま
せん。

永く大切に使われる住宅

ではどうすれば残してもらえるので
しょうか？そう考えていった時行き着
くのは、将来は手に入りづらくなると
予想されるしっかりとした木材を使い、
それも壁の中に隠れてしまうのでは木



室内行修の様子



積極体操



講師の大久保さん

天風会に参加してみませんか？

四季工房の企業理念の源流

仙台・郡山で行修会を 開催しています。

去る11月15日と12月6日の2回にわたり四季工房仙台支店(青葉区中山)におきまして天風会が開催されました。当日は天風会理事でもあり鎌倉賛助会代表の大久保さんにお越しいただきまして積極体操や室内行修など約2時間にわたって心と体の積極化を行いました。

「天風会」と聞くと宗教か何かと勘違いされる方がほとんどですが、実際は心身統一の教えを実践し「清く、尊く、明るく、強い」積極精神を養成しようとする

というのが目的です。松下幸之助さん、稲盛和夫さん、広岡達郎さんなど各界の著名人が師事した教えであり財団です。私自身もこの夏東京で開催されました夏期修練会に参加致しまして、それまでの天風会への印象と大きく異なることが頭と体で理解、体感できました。「心豊かに、心身のバランスを保って健やかに生活すること」は誰もの願いですが、中々現実にはそうはいきません。会員さんの中には天風会がきっかけで人生が大きく好転している方も多くいらっしゃいます。来年には本格的に仙台支部を立ち上げる予定です。OB様でもご興味ある方は是非お気軽にご参加ください。 仙台南営業所長/進藤真文

天風会とは

財団法人天風会は、昭和37年3月、現厚生労働省より設立許可された公益法人です。大正8年、中村天風は自ら体験を重ねて人間の心と身体との相関関係を科学的に考察し、人間に本来備わっている「いのちの力」を充実させ、心と身体の真の健康を確立する方法として「心身統一法」を立案しました。中村天風「心身統一法」は、人生の事あるときにおよんでの創造的変化対応力を養い、心身共に幸せで積極的な生き方のシナリオを提案するものです。

財団法人天風会公式サイト
www.temfukai.or.jp

講談社
『運命を拓く―天風瞑想録』
定価(税込)580円

『運命を拓く―天風瞑想録』
中村天風
定価(税込)1890円

日本経営合理化協会出版局
『君に成功を贈る』
定価(税込)1890円

『君に成功を贈る』
中村天風

『運命を拓く―天風瞑想録』、『君に成功を贈る』など多くの書籍が発行されています。ご覧になってみてはいかがでしょうか？

東北に天風会の集いをつくろう！

設立準備会事務局
(株)四季工房内

郡山/担当 青山 TEL 024-937-6351 FAX 024-937-6341
仙台/担当 進藤 TEL 022-277-9831 FAX 022-277-9861

TOPICS

テレビ東京の「ワールドビジネスサテライト」に四季工房が取り上げられました。

テレビ東京系列、BSジャパンの経済報道番組「ワールドビジネスサテライト」の特集で弊社が紹介されました(12月14日放映)。CO₂削減を後押しする、良質な木造住宅がテーマで、適期伐採・新月伐採、天然乾燥への取り組み等、私たちの品質の高い木材による家づくりが認められての取材でした。番組webサイトにも掲載されておりますのでぜひご覧ください。



動画でもご覧いただけます。www.tv-tokyo.co.jp/wbs/highlight/o1_224.html

居住時CO₂削減に向けて...

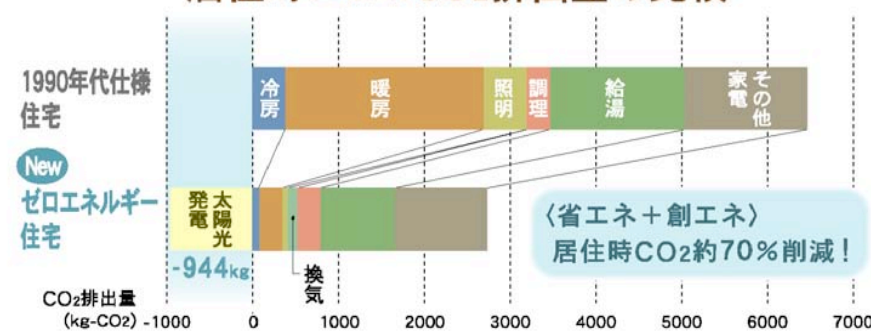
四季工房ゼロエネルギー住宅を検証！

新発表のゼロエネルギー住宅・エコプラスは、省エネ設備として「高効率給湯器」「LED照明」を、創エネ設備として「太陽光発電」をプラスした住宅です。住宅の断熱性能向上に加えて省エネ・創エネ設備により、1990年代の住宅に比べて概算で居住時CO₂(生活時のCO₂)を70%以上削減できます。これは杉の木333本の年間に吸収するCO₂量に匹敵。また光熱費もお得になり、例えば照明ではLED電球1個あたり年間約2000円の電気代節約になります(60W、年間2000時間使用と想定)。初期投資は増えますが、環境にも家計にもやさしい住宅です。これから住宅を建てようとしている方はぜひ検討ください。

環境マネジメント室/二村真弓子



居住時(生活時)CO₂排出量の比較



2008年実施のライフサイクルCO₂調査をもとに独自試算。CO₂は自然冷媒の高効率給湯器45%削減(自立循環型住宅への設計ガイドライン)、LED照明86%削減(メーカー値)と想定。太陽光発電の削減量は、0.3145kg-CO₂/kWを採用。

住まいのエコを始めませんか？



家電も
買い換えた方が
お得？

「冷蔵庫」と「テレビ」。これらの2つの家電は、消費電力が大きく使用時間が長いので、合わせて家庭の電気代の4分の1を占めていると言われています。いずれも現在は、従来型に比べて約半分の消費電力のものが発売されており、買い換えるとCO₂のみならずトータルコスト(購入代+電気代)も減らせる可能性があります。買い換えのシミュレーションサイトもあるので、ご自宅の家電を一度検証してみるのもいいですね。

省エネ製品買換ナビゲーション
「しんきゅうさん」
shinkyusan.com



簡単お手入れで使っている無垢材の家具が新品の輝き!!

無垢材家具のお手入れ方法

木の祭りと感謝祭で人気だった無垢材テーブルのメンテナンス法を誌上公開!!

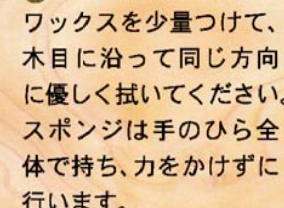
準備物/ゴム手袋、綿の端切れ、スポンジ研磨材(600番~800番)、ワックス(購入時付属ワックス又はアウロワックス、オスモワックスクリーナー)



① 布で乾拭きをします。



② 研磨材のスポンジにワックスを少量つけて、木目に沿って同じ方向に優しく拭いてください。スポンジは手のひら全体で持ち、力をかけずに行います。



③ その後、乾いたやわらかいウエス(綿の布など)で木目に沿って拭き、仕上げに新しい面でもう一度仕上げ拭きをしてください。



メンテナンスキットをご希望の方はWSSA郡山店までお気軽にご注文ください。 TEL/024-944-0712

◆ 乾くまでに湿気が少ない時期で5~6時間かかりますので一晩触れずに乾かして置く事が望ましいです。 ◆ 特に傷がなくても日頃の紫外線で色焼けしたりするので、半年~1年毎にお手入れするとベストです。 ◆ 部分的にこするとその部分だけ変色してしまうので必ず全体をお手入れしてください。 ◆ ベンチ、脚の部分も同様のやり方で行ってください。 ◆ 傷や痛みが目立つ場合はワックスをつけずに研磨剤で軽く大きく撫でて、細かい木くずを乾いた布で拭き取ってから②~③の作業をしてください。

郡山&仙台イベント開催報告

今年も大盛況！「日本の木の祭り&感謝祭」へご来場いただきありがとうございました。

山 たくさんの反省
来年に生かします。

今年は何年の会場「ゆいの郷」に加え「木ごころ郡山」そして「WSSA」と2会場を増やし、「今まで以上に満足いただけるおもてなしをしよう」と10月31日(土)11月1日(日)の2日間、木の祭り&感謝祭を開催しました。

当日は天候にも恵まれ、ゆいの郷では410組、木ごころ郡山、WSSAを合わせると589組のお客様が来場されました。ゆいの郷では有機野菜の収穫体験や植林など、みなさんに体験していただく企画を開催。楽しんでいただくことが出来ました。なかでも植林では家族での記念撮影や笑顔の記念写真プレゼントなどで大好評をいただきました。毎年恒例の木工バザールや木

工家具製作、丸太販売なども大人気でしたが、木工品バザールでは長時間お待ちいただくなどご迷惑をおかけしたところもありました。(来年は改善いたします。)また木ごころ郡山で開催したアウトレット家具販売もご好評をいただくことが出来ました。

皆様楽しんでいただけたら、毎回の工夫を凝らしますが、最終日、最後のお客様をお見送りするまでずっと緊張の連続です(責任者としては当たり前ですが)。そんな緊張した気持ちを忘れさせてくださるのが皆さんからの「楽しかったです」「来年も来ますね」です。今年も沢山の一言を掛けていただき、ありがとうございました。こちらこそありがとうございます。また来年楽しみにしていてください。今年以上の笑顔でお会いできるよう頑張ります。

統括責任者 宇都宮支店長/南浩幸



仙台 一日だけの開催に
なんと650名も
ご来場いただきました。

そして今回が初めてとなる「アウトレット家具の販売」や「OB様趣味の広場」の催しも、予想以上の反響をいただくことができました。「OB様趣味の広場」で発表いただきました村上様、馬場様にはこの誌面をお借りして改めて御礼申し上げます。

来年は今回の反省点を踏まえ、今年以上に多くの方に喜んでいただけた感謝祭となるよう、さらに努力したいと考えております。是非来年もお越しください。

今年のご来場数は約650名様。皆様との新しい出会いに加えお世話になったOB様やご成長されたご子息様との久しぶりの再会と、私達社員も楽しませていただくことができました。来年もまたお会いできることを楽しみにしています。ありがとうございます。

仙台支店/富樫弥

OBの広場
仕事・特技・趣味

「孫の太郎と6畳分の共同書庫が
2世帯をつなぐ架け橋です」

東京都練馬区 森本芳樹様・一夫様邸

森本一夫さんは夫人の祥子さん、長男の太郎君との3人でマンションに住んでいましたが、家を新築するに当たり、九州で暮らしていたご両親を誘って二世帯住宅を建てることにしました。

建築会社をリサーチしたのは祥子さん。初めはハウジングセンターなどを見て回っていましたが、どこも空調がされ「窓を開けて暮らすのが前提の家」に、何か納得がいかなかったのだそうです。もともと自然に暮らせる木の家がいいな、とネット検索していくうち、四季工房で家を建てた方のブログにいき

当たります。そこから四季工房のHPを見て「風の通り道を考えて設計する」などのキーワードに興味を持ち、結局四季工房で建てることに決めました。



新築に当たっての大きなテーマは二つ。一夫さんご夫妻そしてご両親の芳樹さん、朝子さんも4人とも研究者という学術一家の森本家はとにかく蔵書が多い。この本をどう

納めるか、また離れていた二世帯がストレスなく一緒に暮らすためにどうつなげるのかを、四季工房に提案してもらったそうです。

まず生活音が気にならないように、二世帯を上下で分けて、それぞれが1、2階を持つ縦分割に。玄関も二つ設け、普段は別々の暮らしですが、1階の書庫を両世帯から入れるように。そこを通れば互いに行き来

できます。子世帯の2階には大きなサロンを設け、来客があった際などはそこで全員が集まれるようにプランされています。「書庫が通路というのは卓抜な提案」と芳樹さんが言えば朝子さんも「太郎だけ断りな



く両世帯を行き来するので、熱帯魚を飼って呼び寄せてます(笑)。

また親世帯にはスペインで結婚、やはり大学で教鞭を執る一夫さんのお姉さんが長期滞在できるよう、シャワールーム付きのコンドミニアムの空間も用意されています。「娘は息子と二人だけの姉弟ですし、こちらで自分の居場所があるという安心感を持てるようセッティングしてやりたかった」と芳樹さん。プライバシーが保てるその空間は、ヨーロッパ暮らしが長かった芳樹

さんご夫妻の友人が海外から訪れた時にも使う予定だそうです。そんな四季工房の家に一年住んでみて

の一番の感想は「湿気がこもらず、サラッとしていること。昨夏をここで過ごしたお姉さんは『日本の湿気には耐えられないから夏は行かない』と言っているスペイン人の夫も、この家なら大丈夫」と言ったとか。

太郎君と書庫がつなく森本邸。二世帯が、そして遠方に住むお姉さんもリラックスして過ごせるこの家は、大人数でうまく住むための一つの解答を示しているかもしれません。

リポーター/中島早苗

